

講師

杉本 有紗

■ 学歴

1. 2006年 九州大学大学院人間環境学府人間共生システム専攻心理臨床学コース博士後期課程 単位取得満期退学

■ 学位

1. 2003年 修士（人間環境学）

■ 研究分野

1. 心理学
2. 臨床心理学
3. 発達心理学

■ 研究キーワード

1. 認知症高齢者
2. 集団心理療法（心理劇）
3. 動作法
4. 対人援助職者の支援
- 5.

■ 研究課題

1. 施設入所認知症高齢者に対する対人交流を用いた心理的支援
2. 心理劇的ロールプレイングを用いた対人援助職者の自己理解・他者理解を促す研修のあり方
3. 児童養護施設職員のスレッサの理解と支援

■ 担当授業科目

1. 初年次セミナーⅠ（前期）（福祉学科） 必修
2. ヒューマンサービス基礎演習（前期）（福祉学科） 必修
3. 心理学と心理的支援Ⅰ（前期）（福祉学科） 選択
4. 発達心理学Ⅱ（前期）（福祉学科） 選択
5. カウンセリング論（前期）（福祉学科） 選択
6. カウンセリング演習（前期）（福祉学科） 選択
7. 発達臨床心理学演習（前期）（福祉学科） 選択
8. 高齢者支援学Ⅰ（前期・集中）（看護学科・福祉学科・栄養学科） 選択
9. 高齢者支援学Ⅱ（前期・集中）（看護学科・福祉学科・栄養学科） 選択
10. 初年次セミナーⅡ（後期）（福祉学科） 必修
11. 心理学と心理的支援Ⅱ（後期）（福祉学科） 選択

12. 発達心理学Ⅰ（後期）（福祉学科） 選択
13. 社会心理学（後期）（福祉学科） 選択
14. 高齢者臨床心理演習（後期）（福祉学科） 選択
15. 子ども家庭支援の心理学（後期）（福祉学科） 選択
16. 専門研究Ⅰ（通年）（福祉学科） 必修
17. 専門研究Ⅱ（通年）（福祉学科） 必修
18. 卒業論文（通年）（福祉学科） 選択
19. 母子の心理・社会学（前期・集中）（助産別科） 必修 * 1コマのみ

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

| | |
|----|---|
| 1. | <p>授業科目名【初年次セミナーⅠ】</p> <p>本演習では、大学生として必要なアカデミック・スキルのアップを目指した。2023年度は16名前後のグループを1グループあたり4回、全3グループを担当した。心理学の雑誌記事を題材に、課題図書の見直し、批判的読解、レポートの書き方についてスモールステップで課題を課した。グループワークを取り入れ、学び合う姿勢が育まれるよう心掛けた。</p> |
| 2. | <p>授業科目名【ヒューマンサービス基礎演習】</p> <p>本演習では、ヒューマンサービスの専門家として基礎的に必要とされるスキルの育成を目指した。2023年度は15名前後のグループを1グループあたり15回、全2グループを担当した。参加型・体験型の演習プログラム（グループワーク）を中心とした授業を行った。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況を把握し、フィードバックを行った。</p> |
| 3. | <p>授業科目名【心理学と心理的支援Ⅰ】</p> <p>本講義では、心理学、心理的支援についての基本的知識の習得を目指した。主に、心理学の研究法、発達心理学、人格心理学、臨床心理学、心理療法の基礎的知識について解説した。配布プリントにて詳細を、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。</p> |
| 4. | <p>授業科目名【発達心理学Ⅱ】</p> <p>2023年度は履修希望者が5名以下であったため、開講しなかった。</p> |
| 5. | <p>授業科目名【カウンセリング論】</p> <p>本講義では、カウンセリングの理論、進め方と技法についての基本的知識の習得を目指した。カウンセリングの理論、カウンセリングの基本的な進め方と基礎的な技法について解説を行った。予習でテキストを読むことを奨励し、授業での質問を促した。また、配布プリントにて詳細を示し、模擬事例の一部やワークシートを利用し、学生の理解が進むように努めた。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。</p> |
| 6. | <p>授業科目名【カウンセリング演習】</p> <p>2023年度は履修希望者が5名以下であったため、開講しなかった。</p> |
| 7. | <p>授業科目名【発達臨床心理学演習】</p> <p>2023年度は履修希望者が5名以下であったため、開講しなかった。</p> |
| 8. | <p>授業科目名【高齢者支援学Ⅰ】</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>本講義は、看護、福祉、栄養の3学科6教員により、看護、福祉、栄養の3学科の学生を対象に、アクティブシニアが活動的に生活し続けるための支援方法について、解説と実技指導を行うものである。講義では、高齢者の心理的発達、高齢者の社会参加とその臨床心理学的意義についての解説を担当した。アイスブレイクを行い、3学科の学生合同のグループでのPBL（問題解決型学習）が円滑に進むよう促した。</p> |
| 9. | <p>授業科目名【高齢者支援学Ⅱ】</p> <p>本年度は、履修希望者が5名以下であったため、開講しなかった。</p> |
| 10. | <p>授業科目名【初年次セミナーⅡ】</p> <p>本演習では、大学生として必要なアカデミック・スキルのアップを目指した。2023年度は15名前後のグループを1グループあたり6回、全2グループを担当した。心理学研究の研究論文を課題図書とし、課題図書の講読、批判的読解、レポートの書き方についてスモールステップで課題を課した。グループワークを行い、学び合う姿勢が育まれるよう心掛けた。</p> |
| 11. | <p>授業科目名【心理学と心理的支援Ⅱ】</p> <p>本講義では、心理学、心理的支援についての基本的知識の習得を目指した。主に、学習心理学、認知心理学、社会心理学等の基礎的知識について解説を行った。プリントにて詳細を、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。</p> |
| 12. | <p>授業科目名【発達心理学Ⅰ】</p> <p>本講義では、発達心理学、特に人生前半の心理についての基本的知識の習得を目指した。主に、胎児期から学齢期までの生涯発達心理学について、特に乳幼児期の心身の発達や様々な理論を中心として解説を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。また、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。</p> |
| 13. | <p>授業科目名【社会心理学】</p> <p>本講義では、社会心理学についての基本的知識の習得を目指した。社会心理学の理論や著名な研究、概論について解説を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。また、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。小レポートでは、授業で紹介した理論が日常生活ではどのような形で現れるかを考えて例示するよう促した。授業のはじめに、前回の授業のキーワードとその意味、小レポートで提出された例について共有し、学生の知識の定着が進むよう心がけた。</p> |
| 14. | <p>授業科目名【高齢者臨床心理演習】</p> <p>本演習では、高齢者臨床におけるアセスメント及び心理面接の基本的な知識と技術の修得を目指した。臨床場面における高齢者の心理について考えながら、アセスメントの手順、アセスメントの際の配慮についてロールプレイとグループワーク、ディスカッションを行った。また、認知症高齢者の心理について文献を通して理解した上で、心理療法の目的、手順、具体的配慮、その効果について、グループワークによる事例検討とロールプレイを通して理解を促した。</p> |
| 15. | <p>授業科目名【子ども家庭支援の心理学】</p> <p>本講義では、子ども家庭支援に必要な心理学の基本的な知識の習得を目指した。主に、生涯発達心理学、家族・家庭の機能や構造、支援を必要とする家庭についての講義、解説を行った。テキストを基本に進め、必要な情報は適宜補った。また、ワークシートにてポイントをつかめ</p> |

| | |
|-----|--|
| | るように工夫した。学生同士で話し合うことで理解を深めるような機会も適宜取り入れた。毎回の授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。 |
| 16. | <p>授業科目名【専門研究Ⅰ】</p> <p>受講する学生の興味関心のある専門書や論文を持ち寄り、文献講読を行った。</p> <p>また、人間科学についての研究法を解説し、研究テーマの設定について議論を深めた。少人数のクラスであり、積極的に意見交換を行った。学生が意見を出しやすい雰囲気づくりに努めた。</p> |
| 17. | <p>授業科目名【専門研究Ⅱ】</p> <p>受講する学生の興味関心のある専門書や論文を持ち寄り、文献講読を行った。</p> <p>また、研究テーマの設定について、学生の興味関心を絞り込んだり、具体的な実施可能性を吟味し、議論を深めた。研究レポートを自らの力で進めていくことができるよう、学生が主体的に課題を見出し取り組む、必要に応じて教員に相談できる環境づくりに努めた。</p> |
| 18. | <p>授業科目名【卒業論文】</p> <p>本年度は、受講する学生は0名であった。</p> |
| 19. | <p>授業科目名【母子の心理・社会学】</p> <p>本講義では、第1回テーマ「ライフサイクルの心理的特性と発達課題」について解説を行った。発達心理学の理論と母子を取り巻く課題について取り上げた。プリントにて詳細を、パワーポイントにてポイントをつかめるように工夫した。授業終了後の小レポートにて学生の学修状況の把握に努めた。</p> |

■ 学会における活動

| | 加入時期 | 所属学会等の名称 | 役職名等（任期） |
|----|---------------|-----------------|------------------------|
| 1. | 2001年4月～現在に至る | 日本心理臨床学会 | 会員 |
| 2. | 2001年4月～現在に至る | 日本臨床心理劇学会 | 監事（2012年4月～現在に至る） |
| 3. | 2002年4月～現在に至る | 日本リハビリテーション心理学会 | 会員 |
| 4. | 2004年4月～現在に至る | 日本臨床心理士会 | 会員 |
| 5. | 2004年4月～現在に至る | 福岡県臨床心理士会 | 会員 |
| 6. | 2007年4月～現在に至る | 日本発達心理学会 | 会員 |
| 7. | 2008年4月～現在に至る | 日本心理学会 | 会員 |
| 8. | 2022年4月～現在に至る | 九州臨床心理学会 | 北九州地区委員(2022年4月～現在に至る) |

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

| | 発行又は発表の年月 | 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|-----------|-------------|---------|---------------------|----|
| (著書) | | | | | |
| 1. | | | | | |
| 2. | | | | | |

| | | | | | |
|--------|---------|-----------------------------------|---|-----------------------------|---|
| 3. | | | | | |
| (学術論文) | | | | | |
| 1. | | | | | |
| 2. | | | | | |
| 3. | | | | | |
| (翻訳) | | | | | |
| 1. | | | | | |
| 2. | | | | | |
| 3. | | | | | |
| (学会発表) | | | | | |
| 1. | 2024. 2 | 社会的養護における自立支援の取り組みー自立を支えるための心理支援ー | 共 | 第 51 回九州臨床心理学会佐賀大会 (於 アバンセ) | ①社会的養護における自立支援の取り組みとして児童相談所が主体となって実施した、アンケート等調査、心理劇、ライフストーリーワークについて報告した。特に、心理劇という方法を用いて監督者として心理支援を実施した立場として、実施上の配慮と課題について報告した。 ②共同発表者：永淵悦子 (大分県中津児童相談所)、大塚智史 (大分県中津児童相談所)、安倍芽以 (大分県中津児童相談所)、杉本有紗 ③九州臨床心理学会第 51 回佐賀大会プログラム・抄録集 (p22) |
| 2. | | | | | |
| 3. | | | | | |

■ 外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)

| | | | | |
|----------|------|------|-----------------------|-----------------|
| (1) 共同研究 | | | | |
| | 研究題目 | 交付団体 | 研究者 ○代表者 () 内は学外者 | 交付決定額 (単位:円) |
| 1. | | | | |
| 2. | | | | |
| 3. | | | | |

| | | | | |
|----------|------|------|-----------------|----|
| (2) 個人研究 | | | | |
| | 研究題目 | 交付団体 | 交付決定額 (単位:円) | 備考 |

| | | | | |
|----|--|--|--|--|
| 1. | | | | |
| 2. | | | | |
| 3. | | | | |

■ 社会における活動

| | 任 期 期 間 等 | 団体・委員会等の名称 (内 容) | 役 職 名 等 |
|----|---------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. | 2008年4月～現在に至る | 九州大学大学院人間環境学府付 属総合臨床心理センター | 研究員 |
| 2. | 2016年4月～現在に至る | 大分県中津児童相談所（発達相 談・心理判定） | 非常勤心理判定員 |
| 3. | 2021年4月～現在に至る | 大分県中津児童相談所（保護者 等カウンセリング事業） | サイコロジカルスーパーバイザ ー |
| 4. | 2023年8月～12月 | 大分県中津児童相談所（施設支 援専門事業） | 講師（職員向け研修会1回、児童 向けグループワーク全5回） |
| 5. | 2023年6月～現在に至る | 別府大学臨床心理相談室（心理 面接・心理査定・実習指導） | 面接臨床指導員 |

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

| | 任 期 期 間 等 | 会議・委員会等の名称 (内 容) | 役 職 名 等 |
|----|---------------|-----------------------|---------|
| 1. | 2023年4月～現在に至る | キャンパス・ハラスメント防止 委員会 | 委員 |
| 2. | 2023年4月～現在に至る | 懇親会委員会 | 委員 |
| 3. | 2023年4月～現在に至る | 附属シオン山幼稚園・発達相談 | 発達相談員 |